



# ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008 木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008

## 目次

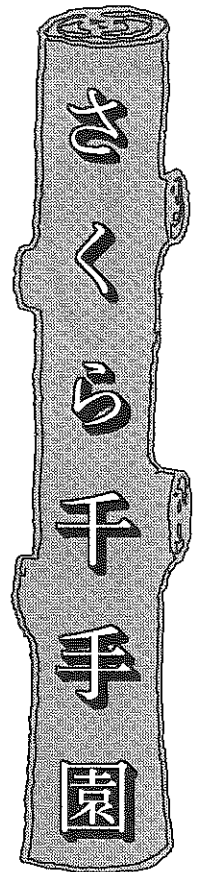
散歩道	1
さくら千手園	2
平成12年度事業計画	2
やまびこ会	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
平成12年度事業計画	4
ひまわり会	4
木の宮日記	5
サポート	
ボランティア講座	6
アプローチ	
施設オープスマン制度	7
情報フラッシュ	8



新川 ゆらゆら橋にて

## 散歩道

街はゴールデンウィーク真っ只中、木の宮学園のとある1日の風景です。その日は、朝から雲一つない青空。今日も変わらぬ1日が明けた。いつも通り、午前の作業に打ち込む利用者達。しかし、1人の利用者が洩らした「ドライブに行きたいなあ」の一言をきっかけに皆の心が揺れ動く。いっきにその声が広まり、いつの間にかドライブに出掛けることになる。昼休みが終わると、即座にマイクロバスに乗り込み、5月上旬の街に繰り出す。佐倉市を抜け八千代市に差し掛かったその時、車窓に色とりどりの鯉のぼりが大空を泳いでいる姿が映る。車を止め、鯉のぼりの近くまで歩く。無数の鯉のぼりたちを間近にし、「すごいね」「きれいだね」と思わず声を上げる。しばしその場で鯉のぼりと共に春の日差しと風を身体一杯に受け止め、連休の合間のひとときを満喫する。このような時間を贅沢に感じる現代社会。時には、肩の力を抜いて過ごしてみるのも良いものだ。



## 平成12年度事業計画

ノーマライゼーションの理念に基づき人間としての尊厳や人権を守り、個々の暮らしやライフステージを大切に援助活動を行います。また、利用者の利益を保護する体制づくりや利用制度に向けての準備を行います。

### 〈園内援助活動〉

- ①生活面では、ゆとりある生活に努め、週2日の自由日課と週7日の毎日入浴を開始します。
- ②健康管理面では、健康の維持、増進に努めると共に何か症状のある場合には早期通院・治療を行います。冬季にはインフルエンザの予防接種を実施します。
- ③行事面では、ニード別外出・親子宿泊旅行・夏まつり・年忘れ会の他、地域のイベントに多く参加します。
- ④作業面では、働く喜びと社会人として必要な事を体得し、人格形

成に役立つよう支援します。また、実習先の開拓を行います。⑤個別プログラムでは、より必要とされるサービスを個々のニードに合わせ実施します。⑥クラブ活動面では、趣味の時間として豊かな暮らし方を学習します。⑦保護者や地域住民との相互理解や連携とボランティアの育成を図っていきます。

### 〈在宅支援活動〉

入所更生施設としての機能を活用し、短期入所事業・ミニデイサービス事業（入浴）・生活剤配食サービスの宮学園と協力し、地域の障害をもった人達の生活を支える福祉サービスの拠点としての役割を果たしていきます。

事業は順調に実績を上げてきており、一部改善事項を除き、概ね昨年度事業を踏襲していきます。

(施設長 恵下 均)

## やまびに会

「私は、この度やまびに会会長に立候補しましたE・Tです。もし私が会長になったら」と高々に声を張り上げて演説が始まりました。今年度より、やまびに会役員と会長を2度に



左から 会長 行事担当 内務担当 広報担当 会計  
ティータイト担当 副会長 書記

分けて選挙を行い、利用者全員から投票していただきました。その結果、役員8名が選出されさらにその中から会長選挙によって会長が選ばれました。選挙後初めての会議で、顔合わせと役員人事についての検討会が開かれました。中には「まさか自分が選ばれるとは!?」と驚きの表情を隠せない方もいましたが、皆さんそれぞれやる気に満ちており、利用者全員の中から選ばれたという責任感を持ってがんばっているようです。特に、内務担当として園内での利用者からの苦情等の相談窓口を受け持つ役員の方は、皆が楽しく過ごせるよう日々励んでいるようです。

みんながんばれ!! (金川)

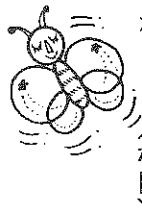
会長になっても、

やまびに会全職員でいっしょうけんめいがんばります。  
やまびに会の仕事も  
がんばっていききたいです。

(会長 E・Tさん)

ゆったり、たつぷり、のんびり

2月の朝、外は身も凍る様な寒さで吐く息がとて白い中、目的地伊豆長岡へ向けて出発しました。伊豆長岡へ着くと皆安心し、ホテルの部屋で横になって休みました。休憩したのもつかの間、「早く温泉に入りたい。」「お腹がすいたから海の幸を食べて一杯飲みたい。」などの声が上ががり、早速温泉へ。露天風呂から眺める景色は格別でオチョコをかたむけながらゆつくり温泉につかりたい気分でした。硫黄の香りがたちこめる温泉で旅の疲れを癒し、ゆったり、たつぷり、のんびり入りました。



その後は待ちに待った夕食で、特にあわびの踊り喰いは網の上に乗せ、パーベキュー風に焼き、あわびが本音に踊っている様を皆驚きをあらわにしていました。機会がありましたら、あなたも伊豆長岡へ足を運んでみませんか。(松田)



「寒かったけど楽しかったよ」

コンサートツアー第二弾!! 音楽界のスター「シャ乱Q春の乱」に行ってきました。コンサートに行く2、3日前から曲を口ずさむ人がいてワクワクしながら出掛けました。2階席最前列一列を陣取り体を乗り出して待つつ事20分、暗い会場から爆音を響かせて眩しいライトの中からシャ乱Qが登場しました。その瞬間、客席中が総立ちで手を振り歌い踊っていました。そして、

千手園日記

雲一つない晴天に色彩やかなのぼりが近づいてきました。「私、若乃花好きなの。」と若乃花のうちわを買い、最後の土俵入りを心待ちにしています。「あっ、おすもうさんだ。大きいね。」と会場に入る前から少し興奮気味です。花道沿いのマス席に座布団を敷いて座ると、出番待ちをしている力士に目を奪われます。そんな中、「あのお兄さんカッコいいね。ほら、また来たよ。」と行司ばかり追っ

お兄ちゃん いつまでも...

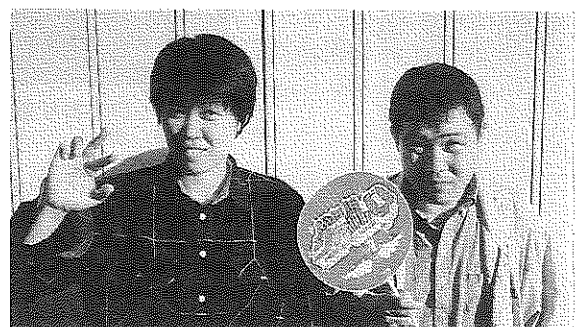
ている人もいます。決まり手、禁じ手を交えながら面白おかしく取る相撲「初切」が始まると、自然と土俵に目が移り、大声で笑っていました。拍手や歓声の中いよいよ若乃花の登場です。うちわを握りしめた手はさらに強くなっていきます。最後の土俵入りを無事に終え、土俵を下りる若乃花を見つめるその横顔は、期待から安心した表情へ変わり、その目は、お疲れ様と見守っていました。(斎藤)

コンサート会場は一体感

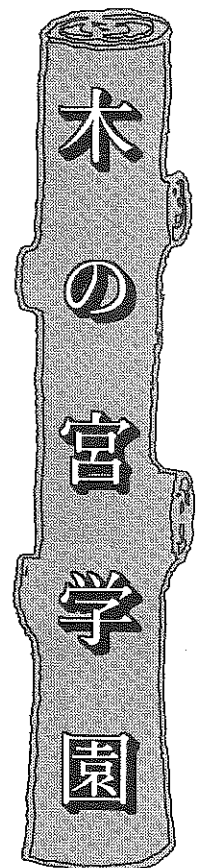
私達が座っている席を見ると、一緒に立ってうちわを振る姿が目に入りビックリ!! そのまた横を見るとうちわをたたきながら一緒に歌っている姿にまたまたビックリ!! コンサート会場はシャ乱Qを中心に一体となり、とり肌が立つぐらい興奮しました。帰りの車内では、おみやげに買ったシャ乱Qのうちわであおぎながらコンサートの熱気を冷ましていました。(島田)



成田場所にて



「コンサートってスゴイッ!!」



## 平成12年度事業計画

- 平成9年度からの第2期5カ年計画の3本柱である『家族支援・在宅福祉支援・地域福祉教育への支援』を推進し、介護保険（高齢者福祉）制度の経過状況を検証していくと共に平成15年4月からの知的障害者福祉等に関する事務の市町村への委譲及び措置制度から契約制度（支援費支給方式）への変更に関わる諸準備を進め、今後の方向性の基礎を築いていきたいと考えています。尚、今年度は次の各事項を主な課題として取り組んでいきます。
- ① 昨年度からの継続課題として、人権擁護プロジェクトチームを中心に利用者並びに家族の人権擁護について、より細かく点検し、職員を意識改革と向上を図る段階から、日常活動支援を日課に添って検証し、具体的な職員の行動規範の作成に取り組んでいきます。
  - ② 利用者の休暇日数（長期休暇）の削減についてはこの3年間で段階的に実施してきましたが今後は夏期休暇を含め、抜本的な削減を検討課題として取り組めます。
  - ③ 毎週水曜日の午後活動のフリータイムのプログラムを再検討し、各月毎の選択制を試行的に導入することでより個人のニーズに合った活動内容の充実に取り組んでいきます。
  - ④ 行事については、更に少人数グループでの外出や旅行等を企画して、より楽しめるプログラムづくりに取り組んでいきます。
  - ⑤ 短時間レスパイトサービス事業においては、通常活動に支障のない範囲でタイムケアとは独立した送迎サービスの実施と開始5年目を迎え、利用料の改正等を含めた抜本的な要項の再検討に取り組んでいきます。（施設長 稲阪 稔）

# ひまわり会

ひまわり会の活動も、8年目を迎えました。学園の主人公は自分であり、「1人がみんなのため、みんなが1人のために」をスローガンに活動してきました。話し合いの方も少しずつではありますが協議らしくなってきたようです。

援助する職員の間、ついつい間に入ってしまふ事も多かっただけに思われまふ（反省！）。

自分達の身の回りの事を考えたり、役割を持つ事により、生活も主体的に関われるようになってきたように感じます。「お花買いに行こう」「ペーパーがなよ」「当番○○さんがやらないよ」など日常的な事も自分達で考えたり、

訴えたりしてきました。少しずつでも自分達でやろうという芽を育ててもらえればと思います。4年前から選挙でメンバーを決めようという事になり、よりみんなに選ばれたという自覚も生まれてきたのではないかと思います。毎年、しれつな選挙戦がおこなわれます。（買収などの不正は見られません！アメぐらいは大目に見ましよう）現在は、ひまわり会の企画外出についての話も2年ぐらい継続で話し合っています。なるべく自分達で考えてゆつくりと時間をかけて話してはいるのですが、今年度はぜひ実現して



「ひまわり会選挙 立ち合い演説会風景」

もらえればと思います。援助者も必要な時には力を貸し、共に育つていければいいと考えています。連休明けは選挙です。今年は何人の人が立候補してくれるか楽しみです。共に協力して住みよい学園を作ろうではありませんか！（渋谷）

# 木の宮日記



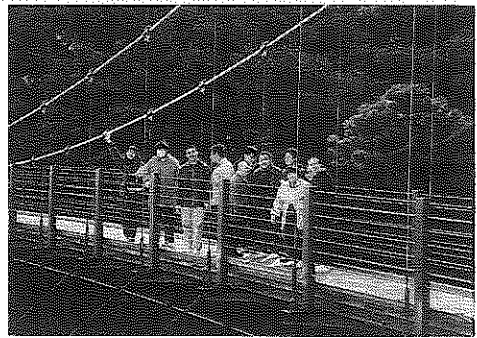
## ♪らん・卵・らん♪

あまりの高さに怖がる方もいましたが無事到着。次に登山鉄道に乗り、山あいを前後に進みながら、箱根湯本に。駅に着くなり再びお土産を買い込み、一路佐倉に帰って来ました。疲れた表情の方、満足気の方、それぞれ楽しい思い出が出来たようです。

(河野)

2月24・25日と箱根湯本にある箱根小涌園に行ってきました。小涌園には、ローズの湯・コーヒーの湯・レモン&さんもくせい湯など、たくさんさんの湯があり利用者それぞれが自分の気に入った風呂に入っていました。風呂の後はみんなが楽しみにしていた夕食会。刺身に鍋にと次から次へと料理が出て来たのは、びっくり。2日目は、大涌谷へ。大涌谷では沸き出している湯の中に卵を入れておく成分によって殻が真っ黒に変化しますが、ゆで卵として食べる事もでき、お土産として買って帰る人もいました。そこから、ロープウェーに乗り雄大な谷底を眺める前に、

## 心と体の栄養補給

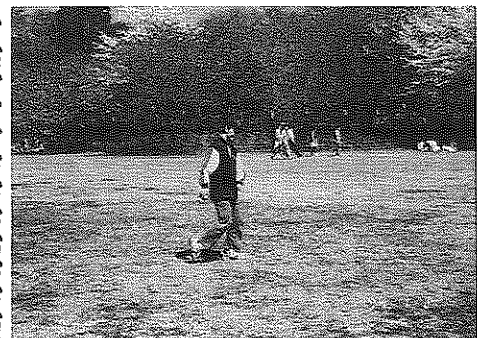


11年度最後のグループ旅行となった今回の旅行は「伊豆高原」へ行って来ました。スーパービュー踊り子号で伊豆に到着。

## さくらの桜

遠くから聞こえてくる人々の笑い声、風に舞い散る桜吹雪……。今年も日本の美しい風習「お花見」の季節がやってまいりました。今回の花見のテーマは、ずばり「ゆったり・のんびり」。場所もちかばの上座公園で、時間もたっぷり。思いっきり羽を伸ばしてきました。みんなで並木道を歩きながら「綺麗だね」と目を輝かせる方、桜に付いているプレートを読み上げ得意そうな方、そうそう、突然の突風に舞い散る桜の中、積もった桜を掬い上げ、ぱっと頭上に散らす方もいました。その時のみんなの笑顔はそれはそれは素敵なもので、まるで少年、少女に戻ったかのような微笑みでした。ひとしきりメルヘンな世界をを満喫し

いざ!!と思ったら予定していた遊覧船は強風の為に乗れず、次のピクニカルコースをのんびりしようということに。入口を見つけて出発したら「これがピクニカル?」というような険しい山道です。皆さん転ばないように必死で歩いていたものだから無言になってしまって……。さすが頑張った後の岩場での眺めは、大島や父島も見ることができて、最高でした。



夜は自分達で材料を調達してバーベキューです。お肉も野菜もたくさん用意して、思い通りに好きな物を焼きはじめたのですが、なくなるのはなぜか肉ばかり……。朝、起きてみるとかわいいお客様が窓ぎながら桜の花にも負けないくらい楽しいおしゃべりの花を咲かせてきました。

(高橋)

夜は自分達で材料を調達してバーベキューです。お肉も野菜もたくさん用意して、思い通りに好きな物を焼きはじめたのですが、なくなるのはなぜか肉ばかり……。朝、起きてみるとかわいいお客様が窓ぎながら桜の花にも負けないくらい楽しいおしゃべりの花を咲かせてきました。

(石井)

# サポート

## ボランティア講座



木の宮学園では、8月と3月にボランティア講座を行っています。8月は学生対象で何度か開催していますが、一般の人を対象とした講座は、この3月が初めてでした。

ボランティア講座を通じて、木の宮学園の事を知っていただくと共に、これをきっかけに一人でも多くの方が日中活動をサポートしてくださるよう願っています。

佐倉市や社協の広報誌などを通じて募集を行いました。担当者の間では、平日に2日間講座を受けてくれる一般の方はいるのだろうかという不安ばかりでした。

募集を初めてから1週間の間は、人数も3〜4人しか集まらず「これでは講座が開けないのでは」とますます不安になりましたが、何紙にも掲載されるうちに次々と参加者が増えていきました。

3月14日の初日には、風邪などで不参加になった方もいましたが、10名の方が参加してくれました。午前中に自己紹介と講座を行いました。参加者の方々は講義する職員よりも人生の先輩ばかりでしたが、熱心に耳を傾けてくださいました。質疑応答でもかなり鋭い質問が出たりもしました。

いざ講義が終わる利用者との交流。自ら話しかける方や、利用者に手をひっぱられて仲間に入っていく方など様々でした。人生経験が豊富な方々とあって、最初は戸惑っていた方も積極的に交流をいはじめたようでした。

1日目の午後と2日目の午前中は作業班体験です。小さなグループに分かれての作業です。参加された皆さんも更に交流が図れたようで、「集中して作業を行っている様子が感じられた」などの意見も聞かれました。

2日目の午後はグループ活動です。作業とはまた違う一面を発見できたのではないかと思います。両日とも反省会を行いました。1日目は「不安だ」「コミュニケーションが上手にとれない」などの声もありましたが、2日目になると「充実した2日間だった」「これから街で見かけたときも自ら声をかけることができそう」などの感想がありました。

アンケートの意見では、「障害のある人、ない人も当たり前に地域で生活していけるようにしなければならぬ」との声が多く、私たちもうれしく思いました。「機会があればまた木の宮学園に来たい」との声もあり、ボランティア担当一同、講座を行ってよかったと改めて思いました。

これからも利用者、ボランティアの方々に楽しんでいただける講座を行っていきたいと思いますので、次の機会にもたくさんの方に参加していただきたいです。(森)



ボランティア講座にて

## ボランティア募集

### さくら千手園

当園では、多くの方々に様々な場面で御協力いただいております。ボランティアの方々には、日頃より当園の事業に御理解をいただき大変感謝しております。今後も相変わらぬ御支援をお願い致します。さて今年もボランティアを募集しております。洗濯たたみ、営繕、草刈り、作業介助、行事準備等様々なプログラムがあります。自分これならできると思ったら、また施設で利用者に関わりたいそんな気持ち芽生えたらすぐに連絡して下さい。地域の皆様の御協力を心よりお待ちしております。(小宮)

### 木の宮学園

月曜日〜金曜日の中で、農園芸、クッキー作り、陶芸、木工細工、縫製、音楽、美術、スポーツなど様々な活動や学園祭・駅伝大会といった各種行事に参加(お手伝い)して頂ける方を募集しています。私ならこんな特技が生かせますという方からボランティアは初めてだけど彼らと楽しんで活動してみたいという方、1日は無理だけど半日だけならできますという方で、時間は午前9時30分〜午後3時45分までになります。詳細につきましては担当までお問い合わせ下さい。(渋谷・山田)

# Approach

アプローチ=接近する・研究方法

昨年度より、当法人では施設オンブズマン制度検討委員会を発足させ、福祉サービスに対する利用者の満足感を高めることや利用者個人の権利を擁護するためのシステムづくりを協議しています。そこで本年度に発刊予定の3回分は、千葉福祉園オンブズマンとして活動されており、2名の方に原稿をお願いしました。

## 施設オンブズマン制度(その二)

ーよりよい施設サービスをめざしてー

東京成徳大学教授

渡 辺 映 子

「福祉」が近年大きく変わってきています。幼老病障者といった「社会的弱者」(この語も、もはや死語と なっています)を保護・救済・育成することが「福祉」であるとされてきたのは、三十年ばかり前までのことでした。今は、全ての人が幸せに暮らすのは当然の権利(福祉権)である。

「そしてその実現のために講じられるさまざまな社会的方策が『社会福祉』である」ということが我が国だけでなく、世界的なコンセンサス(同意)となつていまます。そして、障害があろうとなかろうと、高齢でも働き盛りでも、人としての権

利は等しく尊重されなければならないという、今日のわが国の福祉の基本理念もここから発しています。その中で、障害者福祉においては「権利擁護」が最大のテーマであるとされるようになりました。

こういう流れの中で施設自身による処遇の見直しが各所で行われ、平成十年七月には「障害者・高齢者の生活施設における権利擁護の取り組みに関する全国調査」が発表され、施設利用者の人権擁護に向けての動きがますます強くなってきています。福祉の世界は、時の社会経済の影響が大きいことはいままでもなく、今、福祉施設は非常に厳しい状況にあるのですが、施設関係者のこういった姿勢は高く評価したいところです。

さて、東京都は、平成十年度から心身障害児(者)入所施設を対象としたサービス評価事業を開始

し、十二年度には全施設にサービス点検調整委員会(通称 施設オンブズマン)を設置しました。そして、私は、東京都千葉福祉園(袖ヶ浦市)の委員を委嘱されました。耳慣れない「オンブズマン」「サービス点検」等について、まだ勉強中の私なのですが、紹介させて下さい。

(1) どういう存在か……

「活動の手引き」には次のように記されています。「これまで……施設で行われる援助サービスの内容や水準については客観的に評価する基準がなく……施設とのサービスの内容はまちまちになりがちでした。利用者には、権利を主張したり、救済を求めたりすることが困難な人々も多いため、本人の意思や希望が尊重されないまま援助計画がつけられたり管理運営の都合が優先されたり、時には、現在の援助技術の考え方からすると明らかに不適当な方法で援助が行われたりする例も生じていました。



やまびこ会設置  
「目安箱」

そこで第三者の目で施設のサービスを点検評価し、さらに入所者の苦情や要望を受ける窓口を開設することになったのです。「施設オンブズマン」は、理事長の諮問機関と位置付けられています。

(2) 何をするのか……

委員は、①「サービス評価基準」に基づく評価を年1回行うこと  
②苦情相談窓口を月1回以上開設することが求められています。

(3) オンブズマンとは?……

私たちが5名が委嘱されたオンブズマンとは、スウェーデン語の「代理人」という意味のふつうに使われている日常語です。スウェーデンで一八〇九年に新憲法が制定された時のこと。この法によって議会は1名の「議会の代理人(オンブズマン)」を選任し、公務員、裁判官などが果たして議会が定めた法律に従って正しく職務を執行しているかどうかを監察させることにしました。これがJO(行政オンブズマン、行政監査官などと訳されます)です。このJOは、今日も警察対市民のトラブル、医師・病院・裁判・税務署・社会福祉関係・教育・雇用等々、あらゆる分野にわたる市民の不満、訴えに対応する活動をしています。

# 行事予定

<b>6 月</b>		
6~9日	ニード別旅行：韓国	⊕
8~9日	グループ旅行：房総	⊕
<b>7 月</b>		
4~7日	ニード別旅行：沖縄	⊕
13~14日	グループ旅行：野球観戦	⊕
<b>8 月</b>		
5日	千手会夏まつり	⊕⊕
6~20日	夏休み	⊕⊕
17~18日	夏期一泊旅行	⊕
<b>9 月</b>		
1日	総合防災訓練	⊕⊕
8~9日	親子宿泊旅行	⊕
19~20日	ゆうあいピック ソフトボール大会	⊕⊕
28~29日	グループ旅行：房総	⊕

⊕; 千手園 ⊕; 木の宮学園

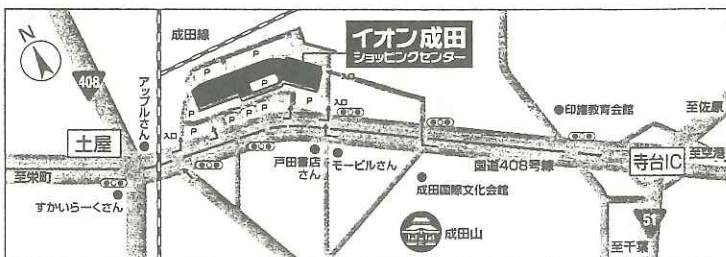
## わたしたちの作品

「こちらどうぞ」

私達の作品が、地域にあるお店でも販売していることをご存知でしょうか？今回からは、今までのちおし製品を紹介してきた作品が

○安田芳照様 ○伊藤忠建材様  
○中志津7区様  
○第49回「NHK歳末たすけあい」義援金の中から千葉県共同募金会様を通じ32型ワイドテレビ・ヘアードライヤー・シェーパー・マイク・ロホンなどをご寄付いただきました。ありがとうございます。

あのお店で、どんな作品が販売しているかをご紹介します、皆さんに足を運んでいただきたいと思っております。  
今回は、3月にオープンしたイオン成田ショッピングセンター内の福祉ショップ「ぴいぽーと」です。ぴいぽーとには、千手会の各作業班の作品の多くが揃っています。さくら千手園では、工芸班の鉢カバー・吊り花台。手芸班は、バッグに巾着、くつ入れ、牛乳パックを再利用した押し花入りのがき。木の宮学園からは、陶芸班の動物の鈴に、ローソクたて、片手ポットにコンポート、灰皿、はし置き、チューリップのペン立



※直行路線バスが京成成田駅  
バス停6番より約20分おきに運行  
(大人片道 200円)



てなどが揃っています。ぴいぽーとの場所は、イオン成田ショッピングセンター内の2F未来屋書店のお店の前にあります。是非、イオン成田ショッピングセンターにお立ち寄りの際には、福祉ショップ「ぴいぽーと」で私たちの作品を手にとっておたしかめ下さい。

## おめでとうございます

ご結婚

2月22日



山崎康弘さん

山崎陽子さん(旧姓 植松)

(木の宮学園)

## お世話になりました

山崎陽子さん

(木の宮学園)

## 「鯉のぼり」さがしています

ねむっている鯉のぼりがありましたらいらだけませんか。

## 編集後記

日差しもだんだんと強くなり、いよいよ夏が近付いてきました。青い空とそれを映したかのような青い海……。今から思いを馳せ心ときめかしている方もいらっしゃる事でしょう。えっ、私？私は駄目です。暑いのは苦手ですから。暑くなると扇子が手放せなくなってしまう。そんな私、今号より参加の新人でございます。これから精進していきたいと思っておりますので、よろしくお身知りおきの程お願いいたします。  
(高橋)